



南山城相談支援センターニュース



特集<特別支援教育の扉>

「わかってできる！」特別支援学校の教室環境の工夫の紹介



特別支援学校では、子どもたち自身がやるべきことがわかって、自分で取組める教室環境の工夫をしています。今月号では、そんな特別支援学校の教室環境の工夫を紹介します。



姿勢を保つためのイスの工夫



児童生徒が姿勢を保ちやすいように、一人一人に合わせた椅子を使用しています。教員が児童に合わせて姿勢補助具を作ったり(写真左)、市販の姿勢補助クッションを使ったり(写真中央)、専門機関で作成した椅子(写真右)を使用したりしています。

時間をわかりやすく伝える工夫



時間をわかりやすく伝えるために、音が鳴るタイマー(写真左)を使って、「おわり」がわかるようにしたり、残り時間をわかりやすくするために、視覚的に残り時間がわかるタイムタイマー(写真右)を使ったりしています。

磨き残しがないように歯磨きできる工夫



磨き残しがないように、めくり式の歯磨き手順表を用意しています。児童生徒は手順表を見ながら、ていねいに歯磨きをしています。(横置きタイプ:写真左、吊り下げタイプ:写真:右)

その他の工夫



足形を用意して、みんなの前で発表をする時や、朝の会の司会をする時の立ち位置をわかりやすくしています。



支援学級等で
参考にしてみてね!



相楽地域特別支援連携協議会「冬の研修会」 開催のお知らせ

教育と福祉とのスムーズな連携を目指して、今年度新たに『冬の研修会』を実施します。福祉機関の方々と交流できる貴重な機会ですので、是非御参加ください。

- 1 日 時 令和5年12月25日(月)14:00~16:00(受付13:30~)
- 2 場 所 京都府山城南保健所 講堂
- 3 講義題 「教育現場で知っておきたい福祉の制度～教育と福祉をつなぐ～」
- 4 対 象 相楽地域(木津川市、精華町、相楽東部広域連合)の小中高等学校の教職員、
教育行政担当者 等

※管理職や特別支援コーディネーター等、学校全体の特別支援教育をコーディネートする方の受講を想定しています。

5 定 員 40 名程度

6 その他 受講希望者が定員を超えた場合は、人数の調整を行います。



活動紹介 校内ミニ研修会

南山城相談支援センターでは、参加人数10人以下や30分以内のミニ研修会も実施しています。
様々なニーズに対応していきますので、お気軽にお問合せください。

<これまで実施した研修会の例>

低学年や高学年の授業を参観させていただき、特別支援教育の視点で事後研を行う。

通常の学級で行える、色々な漢字学習の方法について体験型の研修会を行う。

特別支援学級を卒業した児童の進路等について、座談会形式で紹介する。

読み書きの困難な児童生徒の支援方法について、検討する。

これら以外のニーズにも対応していきますので、お気軽にお問合せください。